

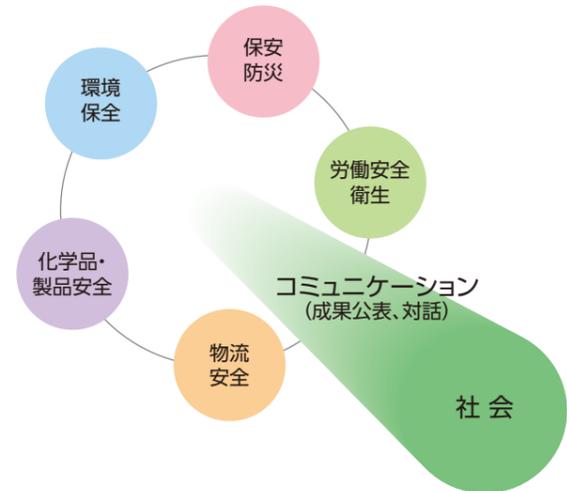
レスポンシブル・ケア活動の推進

製品の開発から廃棄に至るまでの全ライフサイクルにわたり「環境・安全・健康」について継続的改善に努めます。

レスポンシブル・ケアの活動内容

レスポンシブル・ケア(RC)活動は化学物質を製造し、または取り扱う事業者が、自己決定と自己責任の原則に基づき、化学物質の開発から製造、流通、使用、最終消費を経て廃棄・リサイクルに至る全ライフサイクルにわたって、「環境・安全・健康」を確保する自主活動です。

当社は日本化学工業協会レスポンシブル・ケア委員会に発足時(当時はレスポンシブル・ケア協議会)から加盟し、下記の5項目の実現を目指して活動を推進しています。



環境保全

地球上の人々の健康と環境を守ります。

保安防災

設備災害を未然に防止し、万が一災害が起こっても最小限に食い止めます。

労働安全衛生

働く人々の安全と健康を守ります。

物流安全

物流における事故、災害の防止に努めます。

化学品・製品安全

化学製品の性状と取扱方法を明確にし、顧客も含めた全ての取扱者の安全と健康、環境を守ります。

レスポンシブル・ケア ロゴマークは、両手と分子模型をデザインしたもので、化学物質を大切に扱うことを表現しています。CCA(国際化学工業協会協議会)が定めたもので、レスポンシブル・ケア委員会加盟企業が使える、世界共通のマークです。



レスポンシブル・ケアに関する基本方針

当社は、全ての事業活動にかかわる「環境・安全・健康」の確保とその向上を、「レスポンシブル・ケア活動」で推進しています。良き企業市民として誠実に行動し、すべての事業活動において、常に環境との調和を図り、かつ市民および従業員の安全と健康の確保に努め、社会からの信頼に応えること、さらに従業員の地球環境保護、生活環境向上への意識を高め良き市民としての実践を支援することを目的に、基本方針を定めて活動を推進しています。

- (1) 製品の開発から廃棄に至るまでの全ライフサイクルにわたり環境・安全・健康について継続的改善に努める。
- (2) 事業活動が、人及び環境に悪影響を及ぼさないよう管理するとともに、製品の輸送、保管、廃棄に際して、環境・安全・健康に配慮する。
- (3) 研究開発の段階から、環境・安全・健康面の検討を行い、より負荷の少ない製品及び技術の開発に努める。
- (4) 省資源及び省エネルギーを一層推進し、廃棄物の削減及びその有効活用に努める。
- (5) 製品及び操業が環境・安全・健康に及ぼす影響について、行政当局及び市民の関心に留意し、正しい理解が得られるように必要な情報を開示し、対話に努める。
- (6) 科学的知見をベースとしたリスク評価及びリスク管理の一層の充実を図り、化学物質管理の強化を推進する。
- (7) 法律・基準を遵守するとともに、自主的な取り組みの推進により、環境・安全・健康の更なる向上に努める。
- (8) 環境・安全・健康に係る活動に対する、国の内外のステークホルダーの期待に一層応えるため、説明責任を果たす。

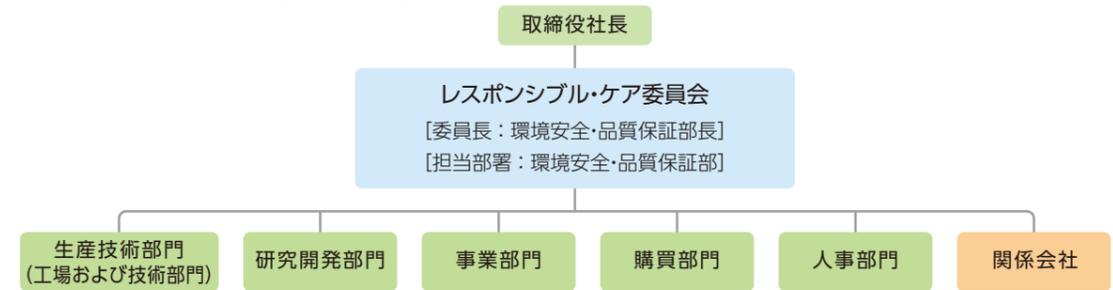
制定1996年6月24日
改定2014年4月25日

レスポンシブル・ケアの推進体制

レスポンシブル・ケア活動を推進する組織としてレスポンシブル・ケア委員会を設置し、委員会を年一回定期的に開催しています。委員会は環境安全・品質保証部長を委員長とし、環境安全・品質保証部担当役員、生産技術部長、人事部長、購買部長、各事業部長、各箇所長で構成

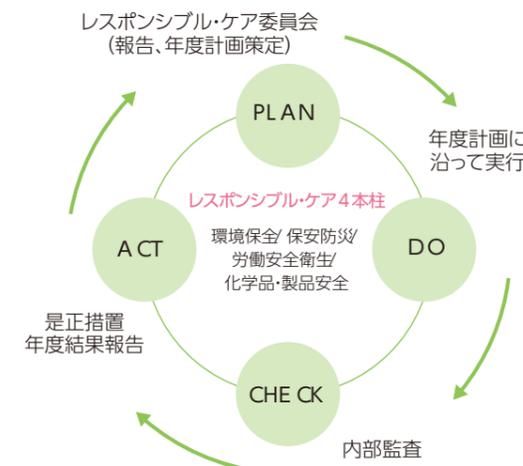
され、環境安全・品質保証部に事務局が置かれています。委員会では、当社および関係会社の年度の活動結果、監査結果およびその改善状況、関連法規制への遵守状況等が報告され、次年度のレスポンシブル・ケアに関する活動方針等が討議されます。

レスポンシブル・ケア推進体制



レスポンシブル・ケアの運用

当社のレスポンシブル・ケア活動はP DCA (Plan Do Check Act) サイクルに基づく年間スケジュールに沿って実施されており、毎年継続的に改善していくことを目指しています。



また活動推進のツールとして当社の5工場では環境マネジメントシステムの国際規格である SO14001 (EMS) の認証を取得し、その後も審査機関による維持・更新を重ねてきております。

	取得年	認証機関	認証番号
小野田工場	2000年10月	日本化学キューエイ	JCQA E-0180
埼玉工場	2000年10月	同上	JCQA E-0182
名古屋工場	2001年7月	同上	JCQA E-0271
袖ヶ浦工場	2002年10月	同上	JCQA E-0408
富山工場	2003年3月	同上	JCQA E-0456

レスポンシブル・ケアに関しては、各工場で行う SO14001 内部環境監査のほか、環境安全グループが行う監査により活動状況を確認しています。2013年度は本体5工場、5研究所ならびに関係会社(グループ会社)等9社、13事業所に対し監査を実施し、マネジメントシステムの改善に努めています。

Message

「マネジメントシステムのさらなる向上を目指して」

環境安全・品質保証部 環境安全GL 中島彩子

環境安全グループは、全社のレスポンシブル・ケア活動を統括し、推進する業務を行っています。各工場、研究所、事業部や関係会社においても目標を設定して、全社的に継続的な改善を進めています。労働災害ゼロ、エネルギー使用量や廃棄物の削減は当然のことながら、環境・安全・健康に配慮し、社会に貢献する製品や技術の開発を目指すことも目標に、RC活動を推進して行きたいと思っております。

